



“波動”の入り口

アクアタック研究室
<https://www.aquatack.com>

② “波動”ってなんですか？

かぎりなく奥が深くてとらえにくい世界ではありますが、もし^{たす}尋ねられたならば、“東洋医学でいう氣”あるいは“生命エネルギー”と答えておいて、おおむね間違いありません。

でも、もう少し歩を進めてみたいと思います。

まず、わたしたちは、単なる機械ではありません。“肉体”という物質だけではなく、その成長や活動をつかさどる“生命力”、喜怒哀楽・好き嫌いの“感情”、客観的に思考する知性的な“精神”—— こういったものが一体となって生きています。

このうち、通常は、生命力・感情・精神の3つを“波動”と呼んでいます。なぜ“波動”なのかというと、これらは波のように振動するエネルギーだからです。もっとも、物理学でいう＜波動＞には、これらは含まれておりません。

ここで、“肉体”を波動に含めないのは、便宜上のことにすぎません。肉体（物質）は、とても“振動している”ようには見えませんから、習慣的に、波動とは別のものと考えています。しかし、現代の物理学で「物質とエネルギーは本質的に同じもの」といわれているように、肉体（物質）もまた、波動の一種ではあるのです。

さて、こう見てくると、動物・植物・水・鉱物等々の^{しんらばんしょう}森羅万象、さらには、目に見えない心の働き、これらすべてが波動なのだと考えてよさそうです。

どうですか？ このような視点から眺めてみると、周囲の^{なが}さまざまなものがいとおしくなりませんか？ 犬、虫、石ころ、ゴミ、見あきたご亭主、口うるさい女房どの…。もし少しでもそんな気持ちになってきたとしたら、それはきっと、理屈でなく“波動”がわかってきた^{しょうこ}証拠です。

③ 波動測定からわかることは？

このような“波動”の状態を数値で表わすのが波動測定で、たとえばこんなことができます。

- ① 人や動物の健康チェック（さらに、測定にもとづく波動水も）
- ② 食品・化粧品などがどのように作用するのかの分析
- ③ 人や動物と食品などとの相性調べ

いまでは、自然療法に関心のあるクリニック、食品・化粧品の開発企業などでも活用されています。そのなかには、あの有名企業も …。

④ 人や動物（犬・猫・鳥 …）の測定はどのように？

波動測定では、[ホルモンバランス] [肝臓] [幸福・（愛）]などの項目が2000ほど用意されています。測定の結果は、プラスいくつ、マイナスいくつで示され、どの項目も、プラスの方が、望ましい意味になります。

アクアタック研究室の 波動測定器

アクアタック研究室では、“PRA-NK型”という測定器を使っています。これは、当時北里大学医学部の助教授であった中村國衛先生らによって開発されたもので、基本的な仕組みは、最初に日本に導入されたMRAと同じですが、表現できる桁数の多い点などが異なっています。

ただし、病院検査の代わりをするものではありません。病院検査は、肉体（物質）の様子を調べるもので、波動測定は、波動エネルギー（氣）の様子を調べるものです。見る対象が違い、両者は補い合う関係にあるのです。

測定を受けるのは簡単です。測定器につながった金属棒を軽く握っていただくだけです。

また、ご本人がいなくても毛髪や爪で測定できますから、動けない方、忙しい方にもご利用いただけます（わんちゃんなどは体毛で）。

④ 食品や化粧品の波動値は 高いほどいいのでしょうか？

学校の成績やスポーツの記録を見る頭があるので、どうしても「高い方が勝ち！」と考えたくなるのですが、一概にそうとはいえません。

たしかに、“波動が高い”ということは、“エネルギーが活発に動いている”ということです。でも、それだからこそ不都合な場合もあります。

もし、あなたのパートナーが、あなたよりずっと活発な人だったらどうでしょう。テンポが違いすぎて、ついていけないかもしれません。

食品や化粧品、パワーストーンも同じで、“あなたより少し高いくらい”の波動がちょうどいいと思われるのです。これが“^{あいしょう}相性”です。